

令和2年度 町政懇談会を開催しました

令和2年度の町政懇談会は、10月8日から14日の間で地区ごとに7回開催し、49名の町民の方のご参加をいただきました。

町からは「町有霊柩車について」、「幌延深地層研究計画について」、「新天塩大橋の開通について」、「問寒別地区における地域交通車両の試験運行について」の4項目について説明し、ご意見、ご質問をいただきました。その後、町政全般について懇談をしました。

参加者の皆さんからいただいたご意見、ご要望などについて、いくつか抜粋してご紹介します。なお、懇談会でお答えできなかったものについては、改めて広報誌などでご紹介いたします。

◆町有霊柩車について

町有霊柩車の老朽化や運転手の確保が難しい現状から、令和3年度から廃止を検討していることについて説明しました。

Q 送迎バスは継続するのか。

A 送迎バスについては、今まで通り運行する考えです。

Q 民間の葬儀社の霊柩車を使う場合、経費はどのくらいか。

A 現在主に幌延町に入っている稚内の2社に確認したところ、幌延町での霊柩車使用については、5万円から6万円で運行してくれるとの回答をいただいています。

Q 今まで無料だったものが有料になるといって、町から何らかの助成なりをしてくれるということか。

A 負担が増えることに対し、何らかの軽減策を検討しています。

◆幌延深地層研究計画について

令和2年度の確認会議での内容を報告しました。

Q 5百メートルまでの掘削について、令和2年度中に決定するということか。

A 研究期間内で収まる施設規模や予算などの調査設計を行い、その結果を踏まえて、今年度中に判断すると原子力機構から回答を得ています。

Q 神恵内村と寿都町で文献調査受け入れを表明している。幌延は三者協定で研究施設は処分場としては使われないといっているのに、変える意思はないと思うが、再度確認したい。

A 幌延での研究は、三者協定を遵守したうえで、(放射性廃棄物を)持ち込

むことも処分することもしないことを大前提に研究を実施していきますので、ご理解いただきたいと思います。

Q 5百メートル坑道まで、あと50メートル掘るとなれば、幌延の雇用も若干は発生するだろうし、地域経済の底上げにもなる。5百メートルまでの掘削をやるよう、町長には強く望んでほしい。

A 思いは同じで、その旨を関係機関に対してこれまでも申し上げています。また、研究課題に対し、研究期間の中でしっかり成果を出していくことを確認しています。5百メートルの坑道建設に関しましては3百50メートル調査坑道での研究を踏まえ、判断することを確認しています。

◆新天塩大橋の開通について

国道40号天塩防災事業において、新しい天塩大橋が完成したことから、10月30

日に通行が切り替わることについて説明しました。

Q 元の天塩大橋の所の信号機は、道道との交差点に移設するのか。

A 道道を横断する交差点については、一時停止になると聞いています。信号機については移設しないと聞いていますので、現在の信号機はその先の道路が廃道となることから、無くなります。



Q 全部出来上がるのは、いつ頃になるのか。

A 雄信内の市街に入るま